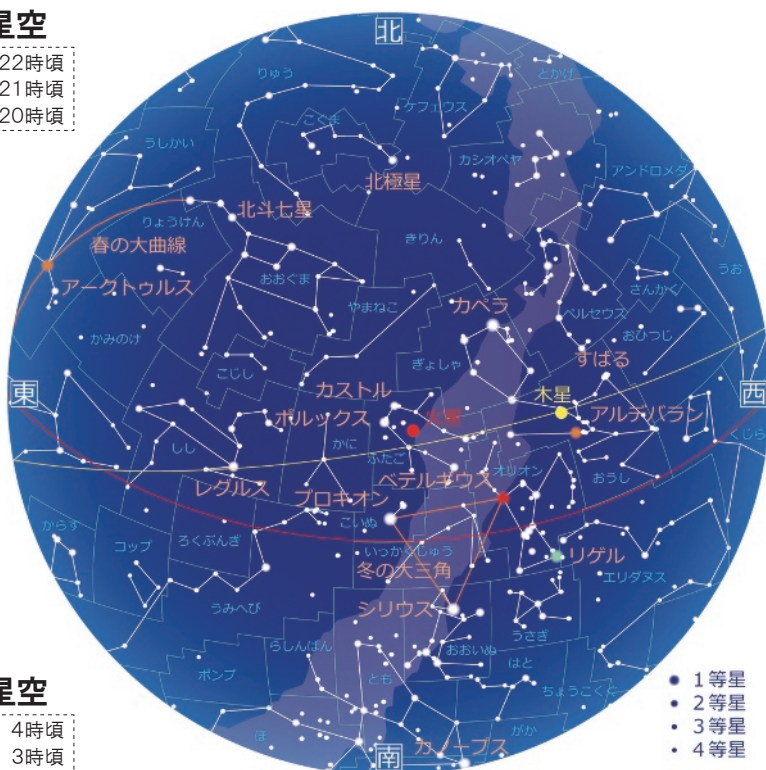


星空ガイド 2月16日～3月15日

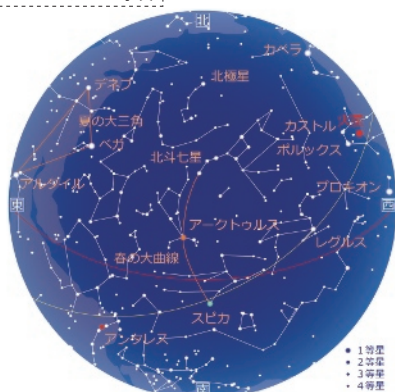
よいの星空

2月16日22時頃
3月 1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

2月16日 4時頃
3月 1日 3時頃
15日 2時頃



〔太陽と月の出入り(大阪)〕

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
2	16	日	6:42	17:41	21:12	8:23	17.6
	21	金	6:37	17:46	1:05	10:46	22.6
	26	水	6:31	17:51	5:29	15:44	27.6
3	1	土	6:27	17:53	7:07	19:19	1.1
	6	木	6:21	17:58	10:02	0:10	6.1
	11	火	6:14	18:02	15:07	4:41	11.1
	15	土	6:08	18:05	19:03	6:27	15.1

※惑星は2025年3月1日の位置です。

カノープス探しにチャレンジ

星座を作る星の中で、シリウスに次いで二番目に明るい星であるカノープス。しかし、大阪では南の地平線のギリギリのところで見えるために、見たことがない！という方も少なくないでしょう。

カノープスを見るためには、まずは南の地平線近くが広く見渡せるところを探しましょう。そんなところが見つかったら、次に冬の大三角を探します。冬の大三角が見つかったら、大三角が南の空に見えてくる頃にプロキオンとベテルギウスを結んだ線を大体二等分した点と、シリウスを結んだ線をぐっと下の方へ伸ばします。するとやや明るい赤っぽい星にぶつかります。その星がカノープスです。



冬の大三角を使った探し方

見ると長生きできる星？

カノープスは本来、シリウスのように明るい白っぽい色をした星ですが、日本から見ると地平線のギリギリのところで見られるため、大気の影響でやや明るい赤っぽい星として見えています。そのため、七福神の一人で酒好きの赤ら顔の神様「寿老人」に見立てて、見ると長生きができる星、寿星とも呼ばれるようになりました。大阪よりも緯度が低く、カノープスを観察しやすい場所である鹿児島県枕崎市には寿星にちなんだ、お年寄りの長寿を願う「寿星踊」が伝わっています。二代目歌川広重による浮世絵(諸国名所百景 薩州枕崎海門ヶ嶽寿星踊)にはその様子がユーモラスに描かれています。



©The Trustees of the British Museum

野村 美月(科学館学芸員)

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
2	17	月	月とスピカが並ぶ
	18	火	雨水(太陽黄経330°) 月が最遠(10時・404773km)
	20	木	金星が近日点通過
	21	金	●下弦(3時)
	28	金	●新月(20時)

月	日	曜	主な天文現象など
3	3	月	木星が東矩
	4	火	水星が近日点通過
	5	水	すばる食(22時10分すぎ～翌0時10分月没)
	7	金	●上弦(2時)
	8	土	水星が東方最大離角
	9	日	月と火星が接近
	12	水	土星が合
	14	金	○満月(16時) アメリカなどで皆既月食